

[dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F / Siege: Oden Building 21-4 Higashi-

Maranouchi Tsu JAPON ☎0592 (26) 3159

N°010 le 25 Août 1989

SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MIE

B I C E N T E N A I R E 記念事業続く

☆ ラヴェル弦楽四重奏団演奏会・9月8日・四日市

1985年、すぐれた四人の若手音楽家によってリヨンで結成され、国際的な活躍を続けている四重奏団です。今年度フランス・エビアンで開かれた国際コンクールで高い評価を受け、ラヴェルの演奏に対してフランス文化大臣賞を、モーツァルトの演奏に対してポール・トルトゥリエ賞を受賞しました。今回、横浜、京都などでの演奏会のため来日したのを機に、特に三重県にも立ち寄り、演奏していただくことになりました。(ムシケ・コンサート例会を兼ねる)

9/8(金) 18・45開演
四日市市 ムシケ・ホール
(文化会館前)

前売券 一般 2500円
学生 2000円
当日券 3000円

▶プログラム◀

ハイドン : 弦楽四重奏曲二長調
「ひばり」

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第1番
へ長調

ラヴェル : 弦楽四重奏曲 へ長調

演奏終了後、四重奏団のメンバーを歓迎するレセプションを、また翌9日は一行と伊勢方面への小旅行を計画しています。是非ご参加ください。

※申し込みとお問い合わせ先

事務局 井土
(0592-26-2766)

または
豊田元子
(9593-51-3387)まで。



21 SEP 1989

☆アンドレ・トレさんを囲む会 9月22日夜・津

今年度総会でも予告したアンドレ・トレ氏の、来県のスケジュールが上記のように決まりました。詳細は改めてご通知します。是非ご予約ください。

トレ氏は現在、パリ郊外シャンピニーにあるフランス・レジスタンス博物館長で、このたび新村猛名古屋大学名誉教授らの招きで来日、各地で講演されます。フランス革命の精神と、フランスの自由、独立を賭けたレジスタンス運動についてお話しいただく予定。つや子夫人は名古屋出身でトレ氏の名著「地下道」の訳者、今回も通訳をしていただきます。

会員のページ

パリ 五月 1989 (その2)

豊田元子 (四日市市在住)

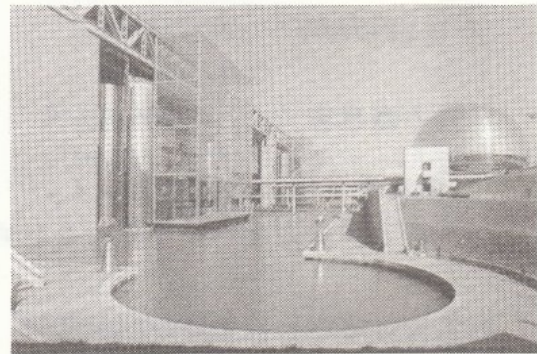
デファンスへ

エトワールで車を拾い、パリ西部の郊外へ行くと、近代的なビルが建ち並ぶいちばん奥に、空洞の巨大な立方体とも言うべき建物・テット・デファンスがでんと鎮座している。近くで見ると、大きな高層ビルが道路の両側に建ち、その上から平たいふたをした形で、門のようになっている。

かつて四日市にいて、私と親交のある友人 Agnes の説明では、ルーブル前のカルーゼル小凱旋門と、エトワールの凱旋門と、この建物が一線に重なって見えるように建てられたという。

一方、パリ北東部の郊外には、数年前までは食肉市場だったラ・ヴィレット地区が、新しい街として変貌している。大

きな球体の鏡でできた映画館や、コンサートホール、展覧会場、遊園地『ぶどうの木のパーク』など、パリに匹敵する未来都市の様相である。ここは次の機会に是非くわしく見たいところだ。



ラ・ビレット。科学技術博物館と球形のジェオド

ベジャールを観る

5月12日 グラン・パレーで、モリス・ベジャールの「La Danse en Revol-

ution)を観た。

広いステージの暗やみに、赤青黄…のスペクトルが、当時の民衆の心の叫びを表すように演出され、道化師、バレリーナ、曲芸師たちの登場によって、1789年あらゆる階層の民衆が参加した革命の大スペクタクルが繰り広げられた。

目まぐるしく変わる舞台を観ていて、理解しかねる部分も多く、ホテルに帰ってプログラムと辞書を首っ引きで、やっとアウトラインがわかってきた。

ベジャールはこの舞台を通して、「真の革命はこれからだ！二百年たった今、もはや国内的規模ではなく、国際的な構想で考えなければならない。」と主張したようだ。表現方法がイロニックで、お祭りのなユーモアのある舞台のなかに、人間として考えねばならない生真面目なものをもった、壮大な3時間のショーだった。

国際化するパリ

今回もうひとつ、おやっと思ったことは、言葉のこと。5年前来たとき、私はフランス語が話せず、片言の英語で用をたさなければならなかったが、そのとき相手の返事はフランス語だった。フランス人は英語を知っている、自国語しか

ドゴール生誕100年記念

懸賞論文募集

(主催)日仏政治学会 仏大使館

(テーマ)ドゴールに関するもの

(締切り)3月末

(賞)1990年11月パリ招待

詳細は事務局・井土まで

予告

フランス映画名画会

イヴ・モンタンの

<ギャルソン>

ジャン＝ルー・ユベール監督

<フランスの思い出>

12月23日(土)

三重教育文化会館

会員優待の方法を検討中

使わないとも聞いていた。

それが今回、少し訓練したつもりで、ボソボソとフランス語を使おうとするとユー・スピーク・イングリッシュ?などと英語で答えてくる。流暢なフランス語なら聞いてくれるのだろうが、言葉を探し探し言っていると、たいてい彼らは英語で話しだすのだ。タクシーの運転手も英語だった。「サーティーファイブ・フラン」などと言う。チップ込みで40F渡して、「メルシ」と言えば、「サンキュー」と来た。ホテルでもフランス紳士が日本語で挨拶してくれ、いちいち「コレ・ナンデスカ」と尋ねて日本語の勉強をしていた。1992年末に予定されるEC(ヨーロッパ共同体)統合をにらんでのことだろうか。

文化と芸術の発祥の地で、中世の遺産を守ってきたフランスは、いま二百年祭を期してダイナミックな建造物を造り、未来への夢をひろげ、一段と魅力のある国になろうとしている。

5月14日 南仏ニースへ向かう。

いろいろ考えさせられることの多い滞仏10日間だった。

革命記念日を盛大に祝う

フランス人も多数参加で 7/16 津

革命200周年を祝う今年の<カトルズ・ジュイエ>の集会在、二日おくれの16日、津市の洞津会館で開かれ、フランス人7名を含む50人あまりが出席しました。関西フランス総領事からプレゼントされたワイン<ボルドールージュ>などで乾杯したあと、和気あいあいと懇談し、さまざまの楽しい催しも続きました。最後にフランス人たちがお礼にと、フランスの子どもの歌と無邪気な遊戯を披露、全員で有名なシャンソン<ロマンス>を斉唱して会を終わりました。



フランス人も総出演



ジャン・クリストフさんを囲んで

Vous savez?

当日の「クイズ・大革命」より

* 7月14日はヴェルサイユ宮殿を民衆が襲った日である。

Non : バスティーユ監獄

* 王妃マリーアントワネットの夫はルイ14世である。

Non : ルイ16世

* そのルイ16世の趣味は錠前造りである。

Oui

* 革命のスローガンは「自由・平等・平和」である。

Non : 「自由・平等・博愛」

* 革命を舞台にした有名な小説、「二都物語」の作者はチャールズ・ディケンズである。

Oui

* 革命の期間は約10年である。

Oui : 1789年から1799年、ナポレオンの政権奪取まで

(マチエの異説もあり)